

アオカモジグサ (青髪文字草)

名前の意味：穂^{いみほ}を草^{くさ}で作ったお人形^{おにんぎょう}の髪^{かみ}にしたから。青は緑色を示し、カモジグサと違^{ちが}って、ノギ^{はり}(針^{はり}のような毛^け)が紫^{むらさき}色にならないから。

分類：単子葉類、イネ科、カモジグサ属

(イネ科の栽培植物^{さいばいしょくぶつ}：イネ、コムギ、トウモロコシ)

好きな場所：日当たりのよい道ばた、林の縁

分布：北海道、本州、四国、九州

原産地：昔から日本に生えていた(自生^{じせい})

特徴：斜^{なな}めに立ち上^たがる茎^{くき}、ノギ^{はり}(針^{はり}のような毛^け)の長い小穂^{しょうすい}

種子の運ばれかた：そのまま地面に落ちる

花弁の数：2枚(小さくて目で見てもよくわからない)、離弁^{りべん}(花びらが1枚ずつ散^ちる)

花の時期：5—7月

食べ方：食べられるけれどもおいしくない

見分け方：カモジグサとは、熟^{じゆく}するとノギ^{はり}(針^{はり}のような毛^け)が反^そり返ること、小穂^{しょうすい}の一番外の葉のようなもの(包^かえい)がノギにならないことで、区別できる。ネズミムギと比較するとノギが太い。スズメノチャヒキの小穂^{しょうすい}には長い柄^えがあり垂^たれ下がる。

見つけやすさ ★★★

見分けやすさ ★★★★★

総合難易度 ★★★

(★が多いほど量が少なく、見分けにくく、難易度が高い)